

慈恵稲荷神社 創建百周年について

現在の浦和区常盤一・二丁目には江戸時代に中山道三番目の宿場として栄え、浦和宿上町（かみちょう）と呼ばれていた時代、宿場の市神様が裏手の地に五穀豊穡、商売繁盛を願う稲荷社（いなりしゃ）と神輿を担いで疫病から宿場を守る祇園信仰の牛頭天王（ごずてんのう）を祀る二社がありました。稲荷社は、大正十四年に慈恵稲荷社と加筆されて境内を整備し、翌年には本殿改装と拝殿を新築し、ちょうど令和七年の本年が百年目に当たります。

又、稲荷社と同型だった牛頭天王を祭る社は明治初期の神仏分離令で名称を廃止され、その後須佐之男命（スサノオノミコト）を祭神とする八雲神社と名称を改め、撰末社（せつまつしゃ）として慈恵稲荷社の本殿裏に小さな社に改修し、現在の場所に移設されました。

宗教法人である慈恵稲荷社は、同じ境内にある八雲社（やくもしゃ）、疱瘡神（ほうそうかみ）、市神社（いちがみしゃ）の全てを御守りしています。

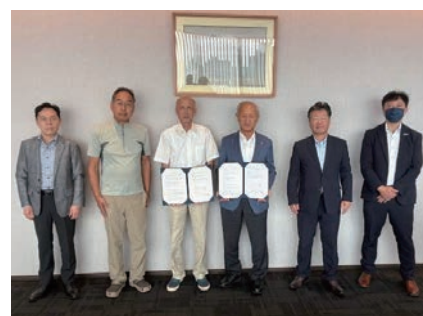
今回、百周年記念事業として境内の樹木整備と賽銭箱並びに鈴紐の新調を致しました。これからも慈恵稲荷神社は、末永く常盤町内の人々が安心して暮らせるように御守りさせていただきます。



災害時応援協定書の締結について

常盤2丁目に本社を構えますアイルホールディングス株式会社（代表取締役 町田哲雄様）より、大規模災害時における災害支援の協力についてご提案があり、8月5日日本ビル内に於いて災害時応援協定書を締結させていただきました。締結内容は、災害発生時における自治会の防災拠点としてのスペース（本社ビル内）の提供および1階駐車スペースを炊き出し場所として提供するなど災害支援に関するものでございます。

自治会としても、大規模災害に備えておりますが、この度の締結により地区住民の皆様に対し、更なる支援体制が整いましたので、災害発生時にはアイルホールディングス様と協力し、災害支援にあたりたいと思います。



普通救命一般講習会

6月29日自治会館にて「普通救命講習①」を開催いたしました。有事の時だけでなく日常でも使えるAEDの使い方を中心とした講習です。防災における「自助・共助・公助・互助」の「共助」が防災訓練の様な地域協力であれば、「互助」は今回の「普通救命講習」のような個人協力です。「互助」が多く集うと強固な「共助」が出来ると思います。今後多くの講習を開催し、人にやさしい「常盤」を目指していきたいと思ひます。



常盤 1・2 丁目自治会のホームページができました！

自治会の事はここから確認してください。

常盤自治会



<https://tokiwa1-2.com/>



広報ときわ 第44号 常盤1・2丁目自治会だより

発行：常盤1・2丁目自治会 TEL：048-767-7535

〒330-0061 さいたま市浦和区常盤 2-1-1 渡邊コーポ 101 号室

印刷・デザイン
コペンハーゲンデザイン株式会社
〒330-0061 さいたま市浦和区常盤 2-10-2 2F
<https://www.copenhagensdesign.com/>

常盤1・2丁目自治会だより「広報ときわ 第44号」04

常盤1・2丁目自治会だより

44号

2025年（令和7年）
秋季号

新

入学児童

お祝いの会

実施日 令和7年4月5日

会場 仲町公民館体育室

出席者 37名





ときわの夏祭り

令和7年7月19日・20日開催

